

合戦川中島 (角光嘯堂)

千曲の川霧 犀川の雨

松籟の吹き荒ぶ 西條山

暁天に雲を呼ぶ 川中島

雄心堂々 両雄の戦い

竜虎相搏つ 阿伝の策

十年の一剣 堅塁の間

三尺の氷刀 陣頭に牙え

一髪の流れ星 興亡の剣

作者略歴 あ行「栗津の夕嵐」参照

解説 武田信玄と上杉謙信との間で行われた合戦を詠った詩。

語釈 ※川中島 長野県長野市の犀川と千曲川に囲まれた三角地帯の地名。武田信玄と上杉謙信との間で行われた数次の戦いが有った場所。

※千曲 千曲川。※犀川 長野県内を流れる信濃川水系の一級河川。

※松籟 松の梢に吹く風。また、その音。※西條山 現代名は妻女山で長野県松代町と千曲市土口との境を接する山。※暁天 明けがたの空。※両雄 武田信

玄と上杉謙信。※阿伝 吐く息と吸う息。ここでは相対する二つのものに言う語。※堅塁 守備の堅い攻めにくいとりで。転じて、守りが堅く簡単にはやぶれない物事。※陣頭 軍の先頭。※一髪 ものごとの情勢などが切迫していること。

※興亡 起こる事と滅びること。興廢。

通釈 千曲川には霧が発生し、犀川は雨が降っている。西條山は松の梢に吹く風が吹き荒れている。川中島の明けがたの空には雲が漂い、雄壮な両雄が川中島で堂々と合戦が始まった。龍か虎か、両者、阿伝の呼吸で対峙した。十数年に及ぶ両陣営の対決は簡単に破ることが出来なかった。が、謙信は氷刀を掲げ軍の先頭に立ち、信玄を追い詰めるまでの興亡でしかなかった。